米国ビジネス発見

ファッションツアー

コンサルタントが買い物助言

服装のカジュアル化が進む米国だが、一方で再びビジネスウエアなどパワーファッションが帰って来ている。そこで登場したのが、ファッションコンサルタントが同行するショッピング・ツアー・ビジネス。ニューヨークなどの大都会、または欧州、アジアなどに同行してイメージ作りを手伝うビジネスである。

「ファッションツアー」と呼ばれるこのビジネス、主にはキャリアウーマン対象とあって、ニューヨーク、ワシントン、シカゴなどに多い。

例えば、ワシントンのファッションコンサルタント、エリザベス・ギブンズ氏が実施している「デカダント・ディーバ・ツアー」。顧客数人を車でニューヨークに連れて来て、ブティック（衣服）を探し歩く「ギルデッド・エージ・ツアー」などがある。

アドバイスを受けながら買い物するツアー客（写真＝トッド・プリット）

デカダントのエリザベス・ギブンズ氏は三つの背景を指摘する。①カジュアルウエアに慣れた米国人は、正式な服装のノウハウにとぼしい②他文化に接する機会が増えて米国人のファッションに対する好みが変わり、方向を失った③消費者が効率よくショッピングを済ますためにコンサルタントの専門的な知識が必要となった――という内容だ。

デカダントは今年八月に開始、既にニューヨークへのツアーを数回実施した。料金は利用するホテルや交通機関によって違うが、一泊二日の週末ツアーの基本料金は一人約八百ドル。キャリアウーマン対象のほか、ティーン、主婦、男性向けなど様々なツアーがある。アパレル業界やデパート、ブティックなどもこのトレンドを歓迎している。

（トレンドコンサルタント　楓セビル）

クなどでの買い物を楽しんでもらう。

シカゴには週末を使った「アクセント・スタイル・ツアー」がある。アジアや欧州を対象にしたものでは「オールド・カントリー・ツアー」や、パリでショッピングしたり十九世紀のビンテージクローズ（骨とう）を探し歩く「ギルデ